

IHI

PARKING NEWS

IHI運搬機械株式会社

タワー式・地下式

北海道／011-737-5543 中部／052-586-3261 四国／087-823-2321
東北／022-211-9951 静岡／054-255-8965 九州／092-433-2300
東京／03-5550-5794・5 関西／06-6281-2025
横浜／045-664-5495 中國／082-297-4033

www.iuk.co.jp

自走式

東京／03-5550-5177
中部／052-586-3261
関西／06-6281-2025

IHI扶桑エンジニアリング

二・多段式

東京／03-5626-5614 中部／052-202-1050 関西／06-6301-5988

www.fuso-e.co.jp

トピックス

株式会社IHI扶桑エンジニアリングを設立
レクセルパーキング紹介

Cube
パーキングニュース・キューブ

October 2012

43

特集 タワーパーキング EV対応事例
アイアンドエフ梅田ビル様

IHI
PARKING NEWS

体制強化で、パーキング市場の変化に対応
安全・安心・利便性を追求して
新たな事業を積極的に展開します。

タワーパーキングEV対応事例 アイアンドエフ梅田ビル様



アイアンドエフ梅田(I&F梅田)基本データ

- 所在地：大阪府大阪市北区豊崎3-10-2
- 竣工：1984年3月(総戸数86戸)
- パーキング概要：
機械式駐車場2機(72台収容)
- 改修工事の内容：
①号機をEV対応パーキングにリニューアル
両方機で操作盤をデジタル方式に変更



ハイブリッド車などエコカーブームが高まり
近い将来には、電気自動車(EV)の普及が本格的に始まるといわれています。
そのような時代のニーズにいち早く応えるため
EV対応のタワーパーキングに改修されたアイアンドエフ梅田ビル様。
その経緯や改修の効果についてお話をうかがいました。

1984年に開業したアイアンドエフ梅田ビル様の駐車場は、
タワーパーキングが2基導入され、現在テナント様の月極や
ホテルの一時貸し用に活用されています。しかしこの数年来、
立地環境が宅地からオフィス街に変わってきたため、2010年、
当初はマンションだった居室をオフィスユースに改装しました。
それに伴い一号機をEV対応にリニューアル。72台収容のうち
5台分にEV充電システムを搭載しました。EV対応パーキング
は、周辺地域ではまだ一基もなく、アイアンドエフ梅田ビル様が
第二号となり、大きな注目を集めました。
EV対応パーキングをサービスコンцепトとして位置づけ、これ
からのビル事業の促進に役立てていく計画です。

IHIグループのパーキング事業は、おかげさまで50年の歴史を刻むことができました。その間私たちはオイルショックやバブル崩壊などの曲折を経て、機械式駐車場のトップメーカーという現在の地位を築くことができました。しかし私たちいま大きな変革の時を迎えてます。

この30数年で急伸していた自動車の保有台数は約5800万台(2011年)をピークに飽和状態となり、今後少子高齢化による本格的な人口減を迎えることから減少傾向に転じると考えられます。また、電気自動車(EV)や超小型EVの普及など自動車の用途やスタイルも変わろうとしています。一方、建設業界では都市再開発や大規模複合ビルの建設など、当業界にとって明るい要素も見られます。

海外への進出もこれから重要なテーマとなりますが、現在中国、マレーシアに現地法人を設立するなど、二・多段式装置をメインにアジアでの商圏拡大を図っている最中です。

このように市場動向やお客様ニーズの多様化ますが、現在中国、マレーシアに現地法人を設立するなど、二・多段式装置をメインにアジアでの商圏拡大を図っている最中です。

このように市場動向やお客様ニーズの多様化ますが、現在中国、マレーシアに現地法人を設立するなど、二・多段式装置をメインにアジアでの商圏拡大を図っている最中です。

このように市場動向やお客様ニーズの多様化を見据え、私たちはつねに柔軟な発想で積極的な事業展開を進めています。本年、二・多段式装置を得意とするIHI扶桑エンジニアリングを設立したのも、先の石川島建材の体制をより強化するためです。その上で、駐車装置の安全性や利便性を高めるのはもちろん、ISO9001を起点に24時間365日体制でお客様のパーキングを遠隔監視し、全国を網羅する直営のサービスセンターなどのネットワークを駆使して迅速、的確なフォローとサービスを実践し、普遍のテーマである「安全・安心・利便性」をさらに追求してまいります。さらに、駐車場経営のご提案や運営管理のコンサルティングなど、まさにお客様のビジネスパートナーとしてきめ細やかなトータルサポートに努めていく予定です。

どんな状況にあっても、お客様とともに成長し続けることができる企業を目指し、パーキングシステム事業本部一丸となってごまごまなことに挑戦してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

パーキングシステム事業本部
本部長 常務取締役 岡山 弘 (おかやま ひろむ)

昭和51年に石川島播磨重工業㈱(現IHI)に入社。
運搬機器、鉄構、機械関連の管理部門を経て平成21年4月当社に入社し、同年7月常務取締役に就任しました。平成23年4月よりパーキングシステム事業本部長として、長年管理部門で培った経験を生かし、次代に向けたパーキング事業の強化の陣頭指揮を執っています。

INDEX

特集／タワーパーキングEV対応事例

アイアンドエフ梅田ビル様 2

トピックス／株式会社IHI扶桑エンジニアリングを設立 5

レクセルパーキング紹介 6

オーナー(企業)様の視点

アイアンドエフ・ビルディング株式会社 専務取締役 泉 邦治 様

業務課長 今井正晴 様

EV対応のパーキングを起点に新しいビジネスモデルを構築。



ビル全体のリニューアルを機にEV対応パーキングを導入

泉 邦治 様
ビル全体のリニューアルを機にEV対応パーキングを導入。現在86戸すべてがオフィスや店舗として利用されています。

大阪市北区は、全国有数の規模を誇る繁華街・梅田をはじめオフィスを中心とした超高層ビル街、市役所や日本銀行大阪支店などの官庁街を擁する、関西圏でも重要なエリアに位置づけられています。近年では再開発が進み、豊崎地区は高層ビルや多目的施設などの建設ラッシュを迎えていました。その豊崎に1984年の竣工から営業を続けるのがアイアンドエフ・梅田ビル。

「当初は賃貸マンションとしてスタートしましたが、時代の変遷でビジネスユースのニーズ

が高まりました。そこで住宅からオフィス仕様へと本格的なリニューアルを2010年に行いました」と、同ビルを管理するアイアンドエフ・ビルディング株式会社の泉邦治専務取締役。現在86戸すべてがオフィスや店舗として利用されています。

「ビル全体のリニューアルに合わせて、タワーパーキングもEV対応にしよう」と、IHIさんに提案しました」(泉専務)。

以前から環境問題に強い関心を持っていた社長の泉祐彰氏が、EVの時代が遅からず到来することを予測し、この機会にテナントビルとしてより付加価値を高めていこうと発案したのです。

EV対応パーキング 新たなサービスコンテンツに

2012年、新装したアイアンドエフ・梅田のタワーパーキングは、全収容台数72台のうち5台分がEV対応仕様になっています。

「まだ一般的にEV自体が普及していないので、ご利用になるテナント様は多くはありません。しかし、このエリアでは初のEV対応パーキングということで注目を集めています。

ました」と、同社業務部業務課の今井正晴課長。

「これからはビル事業にも、さまざまなコンテンツが必要になります。EV対応パーキングというのも、その重要なひとつになると考

えています」と泉専務は続けます。たとえば最近人気のカーシェアリングを導入し、テナント様に共同でEVをご利用いただくな

ど、入居促進のためEV対応パーキングをセールスポイントにして、さまざまな企画を仕掛けていきたいと計画しています。

同社ではアイアンドエフ・梅田の隣接地にホテルを運営していることから、ホテル客の駐車場としてもパーキングを提供しています。

「ホテルの集客と合わせてEV対応パーキングを売りにした、新しいサービスを提供していきたいです」(泉専務)

テナント様の利便性や安全性を高める機能を強化

今回のリニューアルではEV対応の他に、ご利用者の利便性や安全性を高める機能も強化しました。

「これまで夜間など管理者が引き上げたとき、担当の大坂第1サービスセンター所長、福田光は緊張したといいます。

「新潟ではEV対応の導入事例がありますが、当地区では初めてのこと。お客様の提案にお応えできるのか、正直なところ不安がよぎりました」と、当時の率直な感想を振り返ります。長年同社のメンテナンスを担当するチームリーダーの平尾憲太郎に

「とても思いは同じでした。タワーパーキングは入庫中、自動車が庫内を移動します。どのような位置にあっても充電のために電力を安定して供給しなければなりません。また充電装置の設置場所によつてはスペースを取り、入庫の妨げにならないように工夫するなど、何度も試行錯誤しながら工事を進めました。

それは平尾がいうように「私にとっては未知の領域」。工事が無事に完了し、充電の試験を行ったまで安心できなかつたといいます。

「充電テストが終わって車内の電力計が「0」を表示しているのを確認し、はじめて達成感を実感していました」(平尾)。

「時代のどんなニーズにもお応えできるよう、つねに技術を磨き最新の情報を収集していくなければなりません。今回の事例のようにお客様のお陰で、私たちもスキルアップすることができます。この感謝の思いを日々の業務に活かし、今まで以上のサービスを通じてお客様との信頼の絆をより強くしていきたいです」

そう語る福田の表情に、確かな決意が感じられました。

「時代のどんなニーズにもお応えできるよう、つねに技術を磨き最新の情報を収集していくなければなりません。今回の事例のようにお客様のお陰で、私たちもスキルアップすることができます。この感謝の思いを日々の業務に活かし、今まで以上のサービスを通じてお客様との信頼の絆をより強くしていきたいです」とおっしゃる泉専務の言葉に、当社も全力でお応えしようとの思いを強くしました。

今後も、また無理なお願いをすることがあると思いますが、ビジネスパートナーとしてIHIさんは長いお付き合いをしていく

「ビル事業も競争が激化するなど、これからますます厳しい状況が続くでしょう。防災や安全対策はもちろん、テナント様により満足していただけるアイデアを次々に出して

いなければなりません。今回も、技術的

セリフやサービスを提供していきたいですね」



出入庫の妨げにならないよう装置を省スペース化するなど試行錯誤してパレット5台分に充電装置を設置。



もそうですが、仕事を大切のは信頼関係。その点IHIさんは、何かトラブルがあつてもすぐに対応します。何事も30年ちかいお付き合いであります。何事も

「未知の領域(?)を開拓しお客様に的確なソリューションをお届け

お客様のどんなニーズにもお応えしたいそれが私たちの信念です。

世界的なエコへの取組みなど、

これからEVの時代

が確実に訪れます。当社は、とてもEV対応パーキングは欠かせない改修メニューになるでしょう。アイアンドエフ・ビルディング株式会社様のご提案によつて、貴重な経験をさせ

省スペースでも効率的な収容力 信頼の「レクセルパーキング」

株式会社 IHI扶桑エンジニアリングの設立により、製品ラインアップに二・多段式駐車装置「レクセルパーキングシリーズ」が加わりました。安全・快適・高い機能性を誇る特徴をご紹介いたします。

point 1 安全性／耐久性

安全な装置の提供を第一目標に各種の安全装置を採用。



全ての装置は開発時に工場にて落下強度試験、各部の繰り返し荷重試験、オーバラン試験等の安全確認試験を行っています。また、主要部品は工場内にて組み付け(サブアッシャー)、厳しい検査を実施して信頼性の向上と施工品質の安定化をはかりトラブルを未然に防止。工期の短縮も実現しています。

亜鉛めっき仕様の標準化で製品の長寿命化に成功。

防食性能を高めるためフレームは溶融亜鉛めっき仕様、パレットは溶融亜鉛めっき鋼板仕様にしました。耐久性が高まりランニングコストを大幅に低減できます。



point 2 低静音性／操作性

装置各部品に騒音を抑える対策を施し低静音性を追求。



インバータ制御や低騒音モーターの導入、耐摩耗性、耐熱性、耐久性に優れたMC尼ロン製車輪、チェーンと比較して騒音の出にくいワイヤーロープを採用するなど、夜間でも安心してご使用いただけるよう低静音性を追求しています。

point 3 多様性

お客様の多様なニーズにも対応。

●高速タイプ 3段ピット昇降式

従来に比べ約2倍のスピードで出入庫時間を大幅短縮。騒音にも十分配慮しています。

●外装パネル



周囲の環境へ配慮したデザイン、カラーバリエーションを揃えています。工事も低成本・短期工を実現しています。

●ロングサイズパレット

ロングサイズのパレットにし、雨垂れにより泥水などが下段の車にかかるというトラブルを解消します。



●先端傾斜型パレット

昇降ピット式は容易に入庫できるよう、パレットおよび歩廊の先端部を大きく傾斜させました。タイヤの破損を防ぎ、お客様の見た目の安心感が高まります。



当社は、今年1月4日付でマンショングループ事業大手の株式会社大京の100%子会社である株式会社扶桑エンジニアリングの株式を取得し、完全子会社化いたしました。当社は、総合駐車場メイカーとして、大型機械式駐車装置を中心に行ってきた成長戦略の実現とさらなる業績向上を図つてまいりました。

一方、扶桑エンジニアリングは、二・多段式駐車装置を主力機種として、豊富な製品バリエーションや長年の実績等を有し、お客様の認知・信赖を得てきました。当社の取扱商品に、扶桑エンジニアリングが得意とする二・多段式駐車装置を加えることで、製品ラインアップの一層の充実および受注拡大を図ること、また、扶桑エンジニアリングが製作した約9万パレットにものぼる既設駐車設備によりメンテナンス事業の一層の強化・安定的な展開を図ることが可能になると考えています。

さらに、お客様への提案力の向上、および駐車市場における当社プレゼンスの強化等に大きく資することができる判断し、このたび扶桑エンジニアリングの子会社化を決定しました。これにより、昨年10月に行われた石川島建材工業株式会社からの自走式駐車場事業の譲渡と合わせ、駐車場市場のリーディングカンパニーにふさわしい「総合パーキング事業」として

不透明な経済状況の中、どのような市場環境にあってもつねに成長軌道を描けるよう、さらにお客様に最高の満足をお届けするため、IHIグループの総合力強化に努めています。株式会社 IHI扶桑エンジニアリングの設立によって、新しい私たちの挑戦が始まります。

IHIグループのパーキングシステム事業

IHI運搬機械株式会社

- タワー式
- 地下式
- 自走式

株式会社 IHI扶桑エンジニアリング

- 二・多段式
- レクセルパーキング
シリーズ

IHI扶桑エンジニアリング企業データ

株式会社 IHI扶桑エンジニアリング

<http://www.fuso-e.co.jp/>

■名 称／株式会社 IHI扶桑エンジニアリング
(英文名:IHI Fuso Engineering Co.,Ltd.)

■代 表 者／代表取締役社長 伊藤光男
■従 業 員／87名(2012年1月4日現在)

■設 立／2009年1月30日

■事 業 内 容／立体駐車装置事業

■資 本 金／80百万円

■本 社／東京都江東区大島7-22-18
名古屋営業所／愛知県名古屋市中区栄2-6-1 白川ビル別館6F
大阪営業所／大阪府大阪市淀川区西中島2-14-6 新大阪第二ドコモビル

TEL:03-5626-5611(代表)
TEL:052-202-1050
TEL:06-6301-5988

IHI扶桑エンジニアリングは創業以来、限られたスペースを有効活用し、比較的簡易な仕様の駐車装置として定評ある二・多段式立体駐車装置の分野をリードしてきました。豊富なシリーズ展開を誇る「レクセルパーキングシステム」を事業の核にして、高い技術力やノウハウ、導入実績、きめ細やかなサービスで設計から施工、メンテナンス、アフターサポートまでをトータルに行っていきます。